

1 洪水とバベルの塔

- 1) ノアの方舟———アララット山——人類文明の新規蒔き直し
- 2) ギルガメッシュ——ウルクの王、エンキドゥ——フンババ退治の意味
- 3) バベルの塔———人類文明のおごり——言葉を乱す
- 4) アブラハム———都市からの離脱 都市への回帰
- 5) 創造と破壊 秩序と混乱 崩壊と再建 NY9.11

2 古代シュメールの都市——都市国家

- 1) 都市国家 勢力圏の限定 エリドゥ、ウル、ウルク、ニップール
- 2) チグリス・ユーフラテス川 農業用水、生活用水、舟運 ノアの洪水(破壊)
- 3) ジグラッド 精神的共同体の権力化
- 4) 日干し煉瓦と焼成煉瓦 エネルギー需要 ギルガメッシュとフンババ

- 3 帝国の出現
- ・ ヒッタイト——ハットウシャシュ——鉄器の製造、
  - ・ アッシリア——ニネベ——ネブカドネザル

4 バビロン

- 1) 帝国の都 支配の広域化、法による統治
- 2) 川の役割 飲用、灌漑、防御、運搬、交通
- 3) 城壁 権力維持か共同体維持か
- 4) イシュタルの門と壮大な斜路 帝国の権威、焼成彩色煉瓦、芸術文化
- 5) 宮殿・空中庭園 権力の象徴、豊かな生活
- 6) バベルの塔? = 文明の限界 (言葉を乱す) 都市のシンボル——共同幻想の実態化

5 古代エジプトの都市

- 1) ナイルの恵み 灌漑、生活用水、運搬手段、季節の印
- 2) ピラミッド 墓か? 花崗岩 シンボル
- 3) 絶大な王権 組織力・技術力・天文学
- 4) 労働者住宅

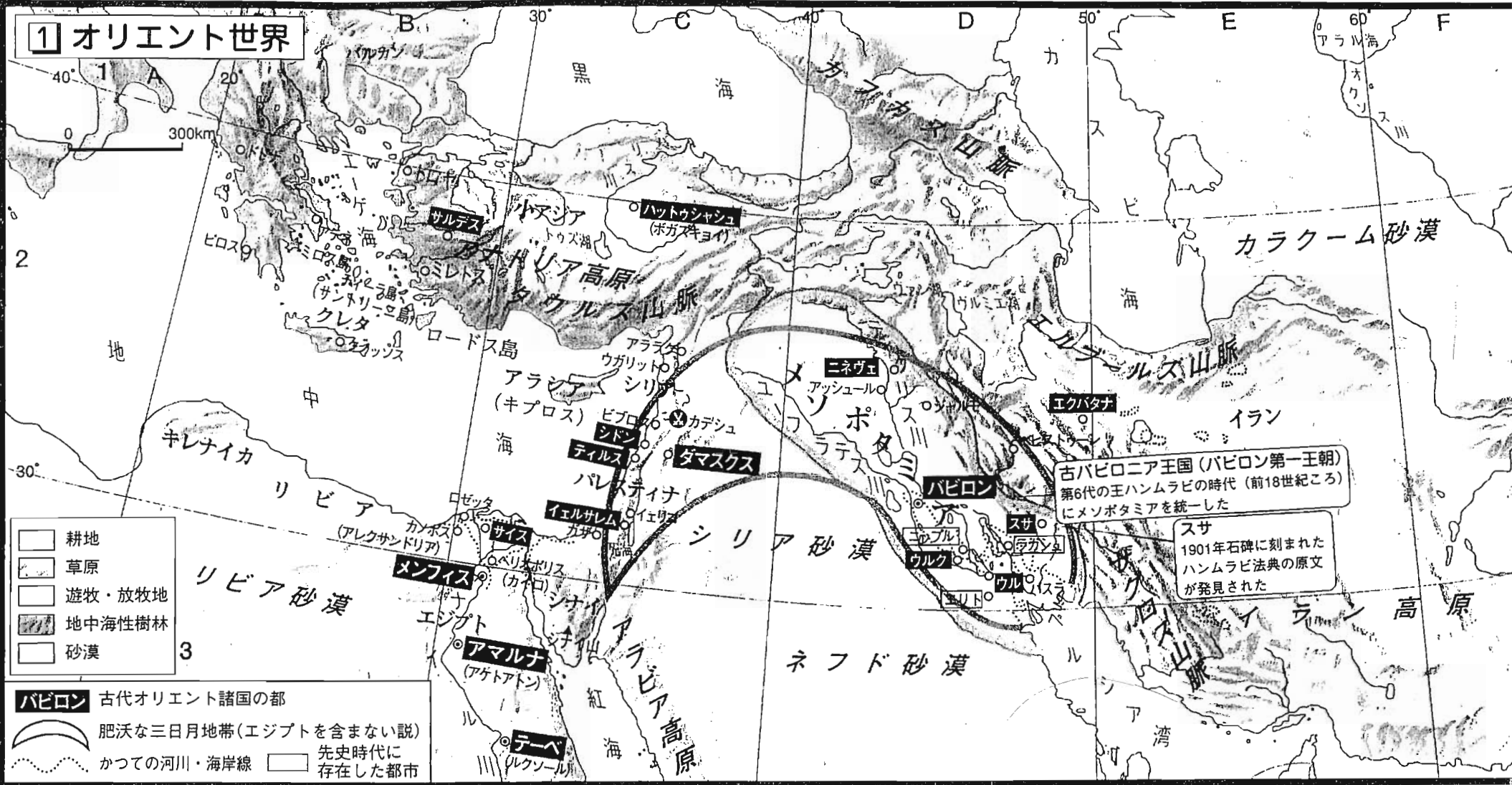
6 インダス都市———モヘンジョダロ、ハラッパー

- 1) インダス川 ドラヴィタ族とインド・アーリアン
- 2) 大浴場 儀式性、共同性 宮殿・神殿は未発見
- 3) 穀物倉庫 管理者は誰か
- 4) 整然とした都市計画・整備された住宅 都市下水、ダストシュート、浴室

7 中国の都市

- 1) 邑 囲いと人
- 2) イチの発生 邪視 鬼市 (知らないもの同士の取引) 仙人
- 3) 市のさまざまな機能 棄市 (公開処刑) 歌垣 雨乞い

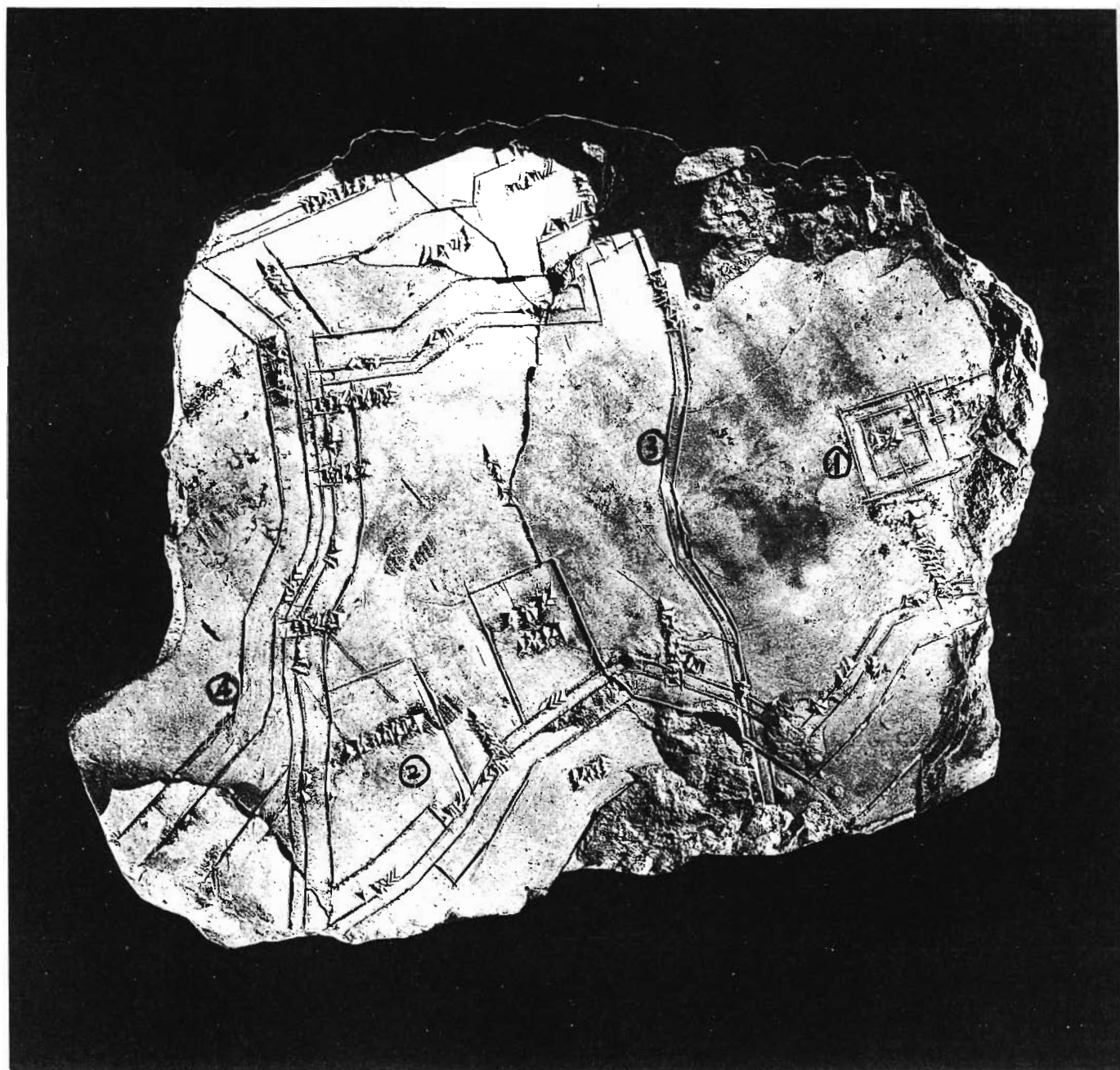
# ① オリент世界



古代オリент世界

肥沃な三日月地帯

# ニツブールの粘土板地図(BC1500)



- ① 神殿、エクル
- ② 公園、キリシャウル
- ③ 運河、イドシャウル
- ④ ユーフラテス川

ウルにジグラーツ

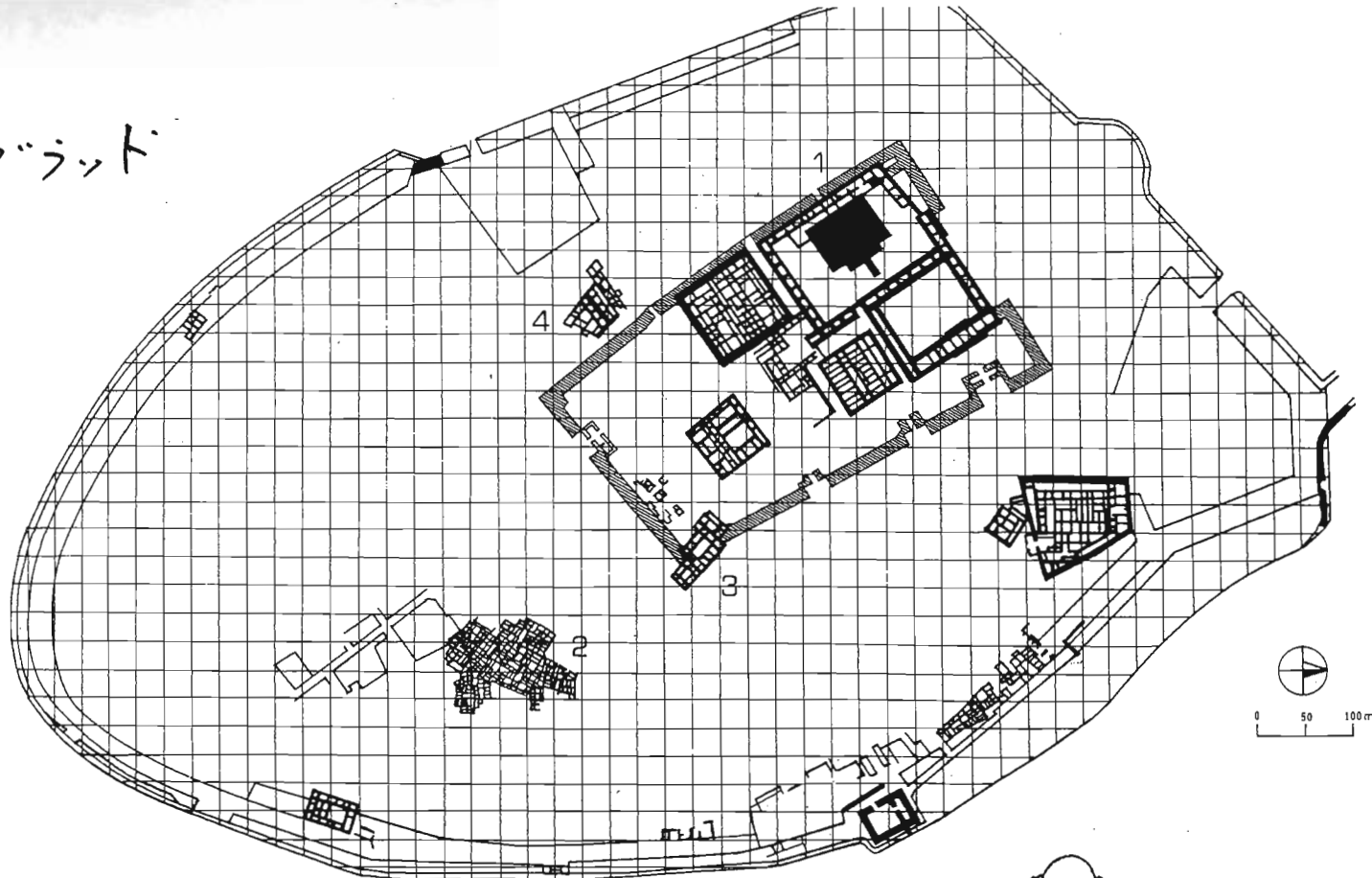
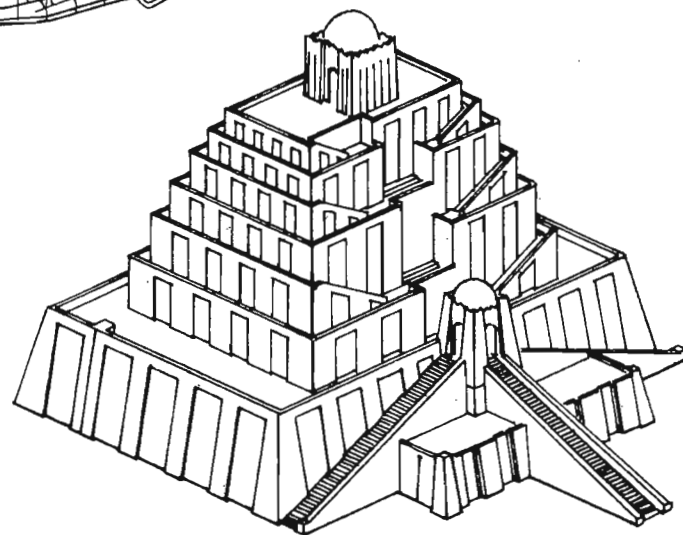
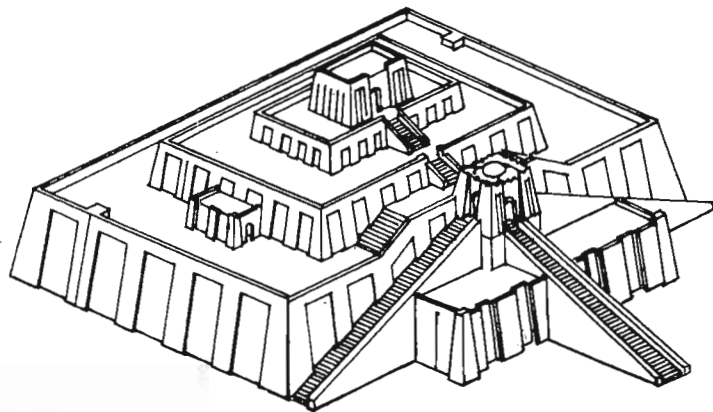
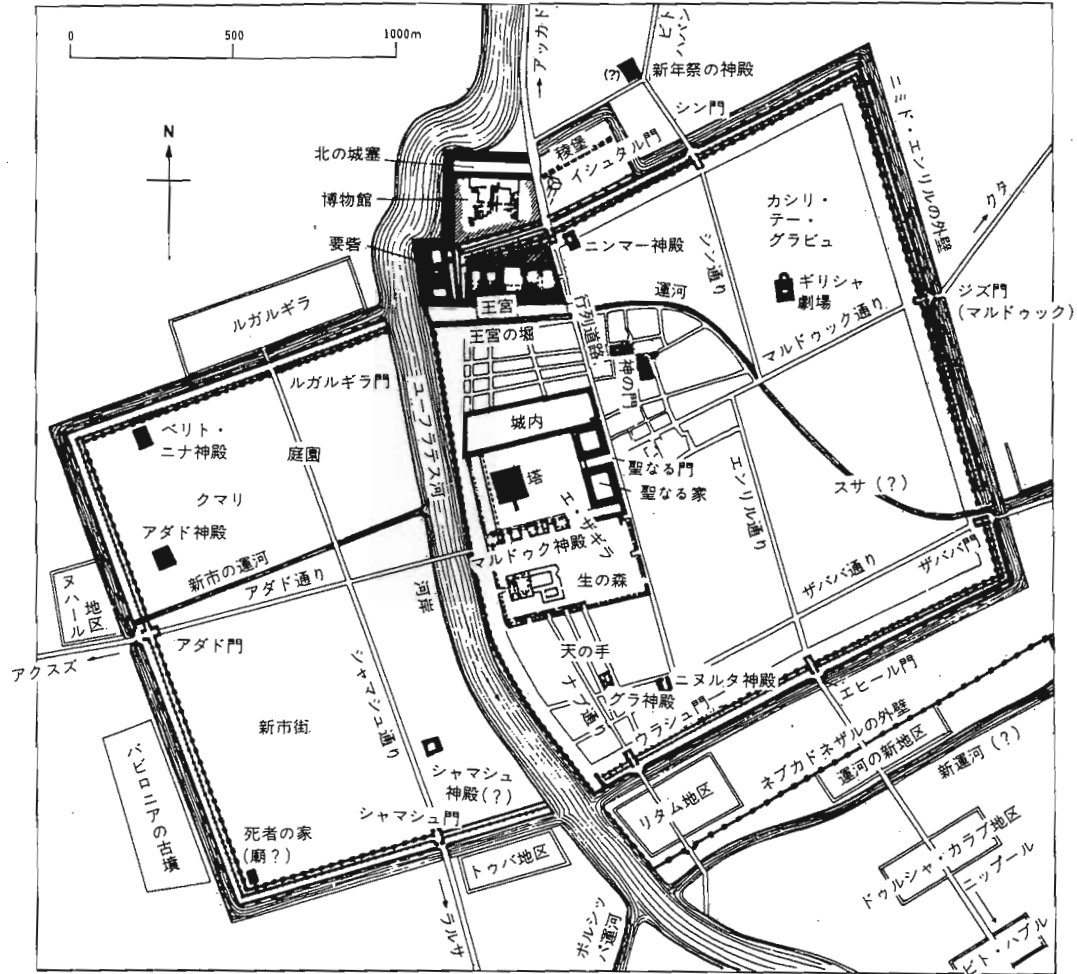


図 31-33 ウル。都市の配置図と〈ジグラーツ〉Iの二つの時期における投影図。



古代バビロン



④

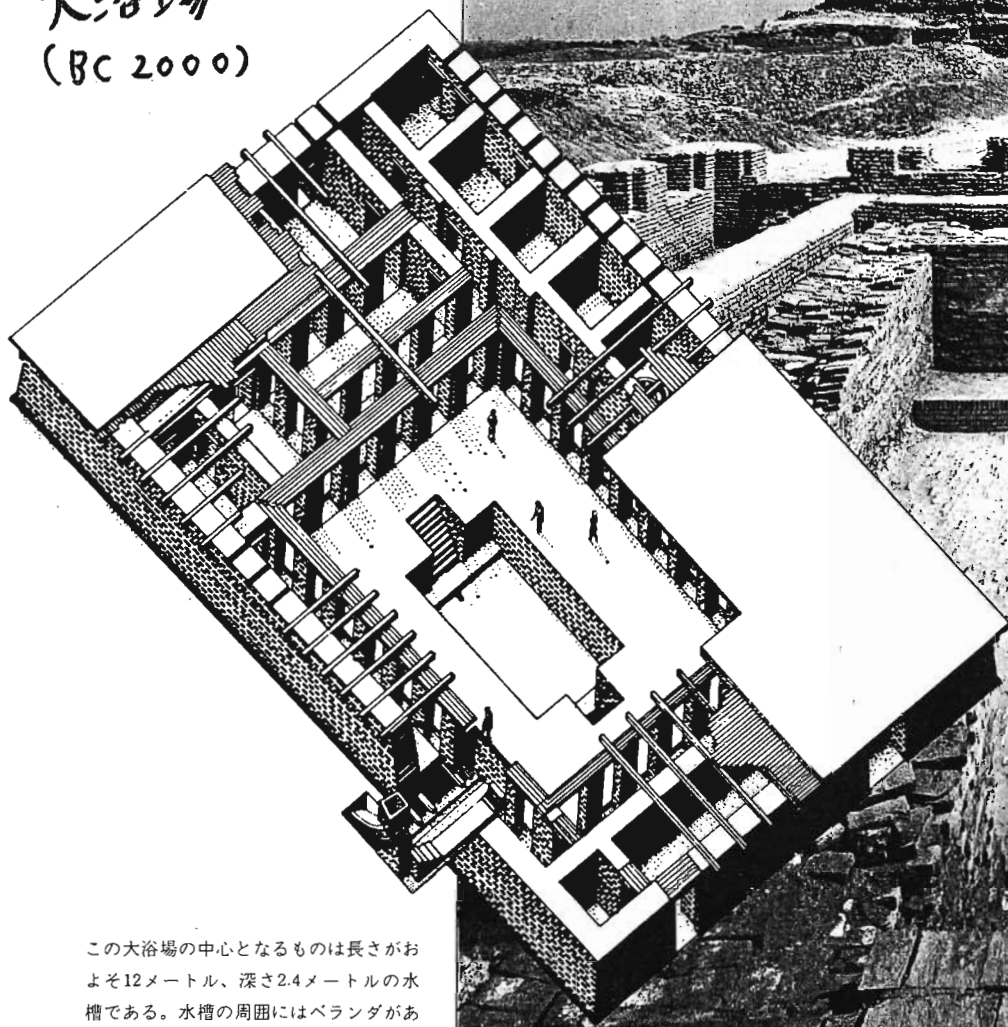
モエンジョ・ダロ (BC 2000)



この写真に示されているのは、モエンジョ・ダロの行政の中心地だった要塞地区の建物と街路の廃墟である。

あるイギリスの考古学者が、れんがとれんがの間に名刺1枚を差し込むことができなかつたと述べているほどである。

# モエンジョ・ダロ 大浴場 (BC 2000)



この大浴場の中心となるものは長さおよそ12メートル、深さ2.4メートルの水槽である。水槽の周囲にはベランダがあり、身分の高い人びとが単独で水浴する小部屋の屋根は列柱に支えられている。

数世紀間使用された後、さらに4000年間も放置されていたにもかかわらず、中央の水槽はなお健在で、わずかに傾斜した平らな底も、かつて入浴する人が水槽へおりるために使った階段も残っている。

